

令和6年度

事業報告

令和6年4月 1日から
令和7年3月31日まで

公益財団法人 日本高等教育評価機構

目 次

I	法人の概況	1
II	項目別事業報告	4
1.	大学等の教育研究活動等の評価事業	4
(1)	大学機関別認証評価	4
	【令和6年度機関別認証評価】	
	① 大学機関別認証評価の実施	
	② 大学機関別認証評価に関する委員会等の開催	
	③ 評価結果報告書の作成等	
	④ 評価員セミナーの開催	
	⑤ 団長セミナーの開催	
	⑥ 第4期評価システム説明会の開催	
	⑦ 評価のフォローアップに関する事業	
	⑧ 内部質保証の充実等に関する支援事業	
	【令和7年度機関別認証評価】	
	① 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催	
(2)	短期大学機関別認証評価	7
	【令和6年度機関別認証評価】	
	① 短期大学機関別認証評価の実施	
	② 短期大学機関別認証評価に関する委員会等の開催	
	③ 評価結果報告書の作成等	
	④ 評価員セミナーの開催	
	⑤ 団長セミナーの開催	
	⑥ 第4期評価システム説明会の開催	
	⑦ 評価のフォローアップに関する事業	
	⑧ 内部質保証の充実等に関する支援事業	
	【令和7年度機関別認証評価】	
	① 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催	
(3)	ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価	9
	【令和6年度分野別認証評価】	
	① ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価に関する委員会等の開催	
	【令和7年度分野別認証評価】	
	① 自己評価担当者説明会の開催	
2.	評価に関する調査・研究	10
(1)	評価基準等の調査研究	10
	① 評価システムの改善	

② 国内外の評価団体及び大学に対する調査・研究	
③ 認証評価に関する調査研究報告書の刊行	
(2) 国際関係	1 1
① 諸外国の質保証機関等との交流促進	
② 国際会議への参加等による情報収集	
3. 当機構の運営機能の充実・強化	1 1
(1) 評議員会及び理事会	1 1
(2) 監事監査	1 1
(3) 会員制度	1 2
(4) 企画運営会議の開催	1 2
(5) 創立20周年記念評価充実協議会の開催	1 2
(6) 当機構の自己点検・評価及び外部評価	1 2
(7) 職員等の研修の充実	1 3
(8) ガバナンス充実に向けた自主的な取り組み	1 3
(9) 事務局体制の強化	1 3
4. 広報及び啓発活動	1 3
(1) 広報委員会の開催	1 3
(2) 広報誌等の刊行	1 3
(3) 情報公開	1 4
(4) その他の情報発信	1 4
5. 創立20周年記念事業の実施	1 4
(1) 創立20周年記念評価充実協議会の開催	1 4
(2) 創立20周年記念表彰	1 4
(3) 20周年誌の刊行	1 4
(4) ホームページのリニューアル	1 4
【附属明細書】	1 5

令和6年度事業報告

I 法人の概況

1. 法人設立年月日

平成16年11月25日（財団法人日本高等教育評価機構）
（平成24年4月1日 公益財団法人へ移行）

2. 定款に定める目的

大学の教育研究活動の状況について評価を行い、あわせて大学の自律的な質の向上及び改善を支援し、もって我が国の大学の発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

前記2の目的を達するため、次の事業を行う。

- （1）教育研究水準の向上に資するために行う大学の教育研究活動等の状況の評価の実施に関する事業
- （2）その他本機構の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

内閣府

5. 会員の状況

（単位 校）

区分	令和5年度末 (R6.3.31)	退会	入会	令和6年度末 (R7.3.31)
大学	348	5	2	345
短期大学	26	2	3	27
合計	374	7	5	372

6. 事務所

東京都千代田区九段北四丁目2番11号

7. 役員等に関する事項

（1）役員

（任期 令和6年6月19日から令和8年6月の定時評議員会終結の時まで）

(五十音順)

役 職	氏 名	常勤・非常勤
理事長 (代表理事)	安井 利一	非常勤
副理事長	沢 良子	非常勤
常務理事	伊藤 敏弘	常勤
理 事	青木 二郎	非常勤
理 事	安部 直樹	非常勤
理 事	石田 優子	非常勤
理 事	大野 勲	非常勤
理 事	小出 秀文	非常勤
理 事	清水 一彦	非常勤
理 事	瀬戸熊 修	非常勤
理 事	瀬野 隆	非常勤
理 事	高井 昌史	非常勤
理 事	塚本 英邦	非常勤
理 事	西村 泰志	非常勤
理 事	久光 正	非常勤
理 事	水戸 英則	非常勤
理 事	三輪 博美	非常勤
理 事	山谷敬三郎	非常勤
監 事	妹尾喜三郎	非常勤
監 事	三田村典昭	非常勤

理事 18人 監事 2人 (令和7年3月末現在)

(2) 評議員

(任期 令和6年6月19日から令和10年6月の定時評議員会終結の時まで)

(五十音順)

役 職	氏 名	常勤・非常勤
評議員	泉屋 吉郎	非常勤
評議員	小野 長門	非常勤
評議員	弦間 昭彦	非常勤
評議員	後藤 泰之	非常勤
評議員	鈴木 勉	非常勤
評議員	高柳 元明	非常勤
評議員	谷岡 一郎	非常勤
評議員	鶴 衛	非常勤

役 職	氏 名	常勤・非常勤
評議員	苔米地 司	非常勤
評議員	野原 明	非常勤
評議員	畑山 浩昭	非常勤
評議員	福井 一光	非常勤
評議員	福井 直敬	非常勤
評議員	福井 洋子	非常勤
評議員	焼廣 益秀	非常勤
評議員	柳澤 章	非常勤
評議員	六鹿 正治	非常勤
評議員	渡邊 秀俊	非常勤

評議員 18人（令和7年3月末現在）

（3）顧問

役 職	氏 名	常勤・非常勤
顧 問	黒田 壽二	非常勤
顧 問	石井 正彦	非常勤

顧問 2人（令和7年3月末現在）

8. 職員に関する事項

（1）職員数等

（単位 人）

職員数	令和5年度末 (R6.3.31)	増員	減員	令和6年度末 (R7.3.31)
計	19〔13〕	1〔9〕	1〔11〕	19〔11〕

*〔 〕は研修員（外数）

専任職員を公募し、令和7年2月1日付で1人を採用した。

（2）管理職職員数（課長・主幹以上）

（単位 人）

事務局長	部 長	次 長	課長・主幹
1	2〔1〕	1	6

*〔 〕は兼務者（外数）

9. 許認可に関する事項

（1）登記事項（※日付は届出日）

- ・ 評議員、理事、代表理事及び監事の変更（令和6年7月2日付）

（2）行政庁等に対する届出等（※日付は届出日）

- ① 事業報告等の提出（内閣府）（令和6年6月27日付）

- ② 評議員、理事、代表理事及び監事の変更（内閣府）（令和6年7月23日付）
- ③ 役員改選に伴う退任及び就任（文部科学省）（令和6年7月22日付）
- ④ 事業計画書等の提出（内閣府）（令和7年3月28日付）

II 項目別事業報告

1. 大学等の教育研究活動等の評価事業

（1）大学機関別認証評価

大学機関別認証評価は、73校からの認証評価の申請を受理し、各大学が評価基準を踏まえて自己点検・評価を行い、その結果としてまとめた自己点検評価書に基づき、書面調査及び実地調査を通じて、教育研究活動等の総合的な状況の評価するとともに、自己点検・評価の検証を行い、大学評価基準に適合しているか否かの判定を行った。

また、令和7年度から実施する第4期大学機関別認証評価の実施に向けて、認証評価に関する動画（JIHEE channel）をリニューアルするとともに、「受審のてびき」等を作成した。

【令和6年度機関別認証評価】

① 大学機関別認証評価の実施

ア. 令和6年度認証評価 73校

「適合」70校（私立）、「不適合」3校（私立）

イ. 事前相談及び事後相談（随時）

事前相談8校、事後相談8校

・ 認証評価（五十音順）

適合70校

（私立）

愛知学泉大学、青森大学、育英大学、育英館大学、浦和大学、
エリザベト音楽大学、大阪青山大学、大阪河崎リハビリテーション大学、
大阪国際大学、大阪成蹊大学、大阪人間科学大学、大阪物療大学、
沖縄科学技術大学院大学、沖縄キリスト教学院大学、開智国際大学、
関東学園大学、共栄大学、京都芸術大学、京都情報大学院大学、
京都美術工芸大学、倉敷芸術科学大学、群馬パース大学、神戸医療未来大学、
国際大学、札幌大学、札幌大谷大学、札幌国際大学、山陽学園大学、
四條畷学園大学、尚絅大学、尚絅学院大学、白梅学園大学、星槎大学、
聖泉大学、清和大学、仙台大学、千里金蘭大学、第一薬科大学、太成学院大学、
高崎商科大学、高千穂大学、宝塚医療大学、千葉科学大学、帝京平成大学、
帝塚山学院大学、東京医療学院大学、東京通信大学、東北文化学園大学、
徳島文理大学、富山国際大学、名古屋芸術大学、奈良学園大学、
新潟食料農業大学、西九州大学、日本経済大学、日本女子体育大学、
羽衣国際大学、浜松学院大学、東日本国際大学、兵庫医科大学、

福岡国際医療福祉大学、福山大学、文化学園大学、平安女学院大学、北翔大学、
八洲学園大学、横浜商科大学、横浜創英大学、四日市大学、
LEC 東京リーガルマインド大学院大学

不適合 3 校

(私立)

東京福祉大学、日本ウェルネススポーツ大学、北洋大学

【評価スケジュール】

・ 書面調査実施	令和 6 年 7 月～
・ 実地調査実施（原則 2 日間）	令和 6 年 9 月 25 日～11 月 20 日
・ 意見申立て審査会審議	令和 7 年 2 月 20 日
・ 大学評価判定委員会審議	令和 7 年 1 月 27 日、3 月 3 日
・ 理事会承認	令和 7 年 3 月 13 日
・ 文部科学大臣へ報告	令和 7 年 3 月 14 日
・ 評価結果公表	令和 7 年 3 月 27 日

② 大学機関別認証評価に関する委員会等の開催

- ア. 大学評価判定委員会（開催 4 回／委員 17 人）
- イ. 意見申立て審査会（開催 1 回／審査員 5 人）
- ウ. 評価員養成検討委員会（開催 5 回／委員 7 人）
- エ. 評価システム改善検討委員会（開催 1 回／委員 10 人）

③ 評価結果報告書の作成等

大学評価判定委員会の判定及び理事会の承認を得た 73 校の評価結果報告書を作成し、文部科学省、報道機関、その他関係大学等に評価結果を報告するとともに、令和 7 年 3 月 27 日にホームページで公表した。

④ 評価員セミナーの開催

評価員は、評価基準等の評価システムを熟知するとともに、高いレベルでの共通理解、認識が必要となる。令和 6 年度大学機関別認証評価を担当する評価員に対して、評価員としての業務や留意事項などをまとめた動画を配信し、視聴を求めた。また、Web 会議システムを利用して評価チームごとに情報共有を行った。

視聴期間	令和 6 年 6 月 3 日～11 月 20 日	令和 6 年度評価員	358 人
情報共有実施期間	令和 6 年 7 月 3 日～23 日	令和 6 年度評価員	358 人参加

⑤ 団長セミナーの開催

評価作業の平準化を図るため、Web 会議システムを利用してセミナーを開催し、団長の役割や留意事項などについて説明した。

開催日 令和6年6月10日～14日（5日間）

参加者 71人

⑥ 第4期評価システム説明会の開催

第4期評価システム説明会は、会場集合と動画配信（ライブ配信及び期間限定でのオンデマンド配信）を併用した形式で開催した。

開催日	会 場	参加者
令和6年4月23日	（東京）アルカディア市ヶ谷	106人

⑦ 評価のフォローアップに関する事業

過年度に「適合」の判定を受けた大学のうち、「改善を要する点」として指摘があった39校から合計89件の改善報告を受けた。当機構は、大学から提出された「改善報告書」等が当該大学のホームページで公表されていることを確認し、改善報告等審査会及び大学評価判定委員会において審議を行い、その結果を大学に通知した。

その他、評価のフォローアップとして、大学から講評や相談などの求めに対し、当機構において審議を行い、対応した。

ア. 改善報告等審査会（開催2回／審査員5人）

イ. 大学への講評・相談の実施（随時）

⑧ 内部質保証の充実等に関する支援事業

各大学の自主的な内部質保証の充実及び教育研究活動等の自律的な展開を支援・促進するため、大学からの依頼を受けて当機構の役職員を講師として派遣した。

・講師派遣事業の実施 13校、3機関

【令和7年度機関別認証評価】

令和7年度大学機関別認証評価の申請は、令和6年7月に受理した。

認証評価 19校

【申請大学】（五十音順）

・認証評価 19校（私立）

愛知工業大学、秋田看護福祉大学、大阪行岡医療大学、沖縄国際大学、
金沢星稜大学、亀田医療大学、岐阜医療科学大学、岐阜保健大学、
九州医療科学大学、高知リハビリテーション専門職大学、神戸情報大学院大学、
国際ファッション専門職大学、聖マリア学院大学、東京聖栄大学、
長崎国際大学、ビジネス・ブレークスルー大学、文化ファッション大学院大学、
山口学芸大学、和歌山信愛大学

① 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催

令和7年度の認証評価を申請した大学及び短期大学の自己評価担当者等の関係者を対象に、当機構が実施する認証評価について、理解を深めることを目的とし、評価システム改定の経緯をはじめ、認証評価の基本方針や評価基準、自己点検評価書等の作成及び評価のプロセスについてまとめた動画を作成して配信した。その後、大学からの依頼を受けて Web 会議システムを利用した個別相談会を実施した。

動画配信日 令和6年8月29日

個別相談会 開催日 令和6年9月10日

参加校数 大学19校

(2) 短期大学機関別認証評価

短期大学機関別認証評価は、6校から認証評価の申請を受理し、各短期大学が評価基準を踏まえて自己点検・評価の結果としてまとめた自己点検評価書に基づき、書面調査及び実地調査を通じて、教育研究活動等の総合的な状況の評価するとともに、自己点検・評価の検証を行い、短期大学評価基準に適合しているか否かの判定を行った。

また、令和7年度から実施する第4期短期大学機関別認証評価システムの実施に向けて、認証評価に関する動画（JIHEE channel）をリニューアルするとともに、「受審のてびき」等を作成した。

【令和6年度機関別認証評価】

① 短期大学機関別認証評価の実施

ア. 令和6年度認証評価 6校

「適合」6校（私立）

イ. 事前相談及び事後相談（随時）

事前相談1校、事後相談1校

・ 認証評価（五十音順）

適合6校（私立）

京都外国語短期大学、札幌大谷大学短期大学部、山陽学園短期大学、
尚絅大学短期大学部、第一幼児教育短期大学、福岡こども短期大学

【評価スケジュール】

・ 書面調査実施	令和6年7月～
・ 実地調査実施（原則2日間）	令和6年10月15日～11月20日
・ 短期大学評価判定委員会審議	令和7年1月28日、2月26日
・ 理事会承認	令和7年3月13日
・ 文部科学大臣へ報告	令和7年3月14日
・ 評価結果公表	令和7年3月27日

② 短期大学機関別認証評価に関する委員会等の開催

ア. 短期大学評価判定委員会（開催４回／委員１０人）

イ. 短期大学意見申立て審査会（開催１回／審査員５人）

③ 評価結果報告書の作成等

短期大学評価判定委員会の判定及び理事会の承認を得た６校の評価結果報告書を作成し、文部科学省、報道機関、その他関係短期大学等に評価結果を報告するとともに、令和７年３月２７日にホームページで公表した。

④ 評価員セミナーの開催（大学と合同開催）

評価員は、評価基準等の評価システムを熟知するとともに、高いレベルでの共通理解、認識が必要となる。令和６年度短期大学機関別認証評価を担当する評価員に対して、評価員としての業務や留意事項などをまとめた動画を配信し、視聴を求めた。また、Web 会議システムを利用して評価チームごとに情報共有を行った。

視聴期間 令和６年６月３日～１１月２０日 令和６年度評価員 ２８人視聴
情報共有実施期間 令和６年７月３日～２３日 令和６年度評価員 ２８人参加

⑤ 団長セミナーの開催（大学と合同開催）

評価作業の平準化を図るため、Web 会議システムを利用してセミナーを開催し、団長の役割や留意事項などについて説明した。

開催日 令和６年６月１０日～１４日（５日間）
参加者 ６人

⑥ 第４期評価システム説明会の開催（再掲）

⑦ 評価のフォローアップに関する事業

過年度に「適合」の判定を受けた短期大学のうち、「改善を要する点」として指摘があった２校から４件の改善報告を受けた。当機構は、短期大学から提出された「改善報告書」等が当該短期大学のホームページで公表されていることを確認し、短期大学評価判定委員会において審議を行い、その結果を短期大学に通知した。

その他、評価のフォローアップとして、短期大学から講評や相談などの求めに対し、当機構において審議を行い、対応した。

ア. 「改善報告書」等を審議した短期大学評価判定委員会（開催１回／委員１０人）
イ. 短期大学への講評・相談の実施（随時）

⑧ 内部質保証の充実等に関する支援事業

各短期大学の自主的な内部質保証の充実及び教育研究活動等の自律的な展開を支

援・促進するため、短期大学からの依頼を受けて当機構の役職員を講師として派遣した。

・講師派遣事業の実施 1校

【令和7年度機関別認証評価】

令和7年度短期大学機関別認証評価の申請は、令和6年7月に受理した。

認証評価 2校

【申請短期大学】（五十音順）

・認証評価 2校（私立）

長崎短期大学、ヤマザキ動物看護専門職短期大学

① 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催

令和7年度の認証評価を申請した大学及び短期大学の自己評価担当者等の関係者を対象に、当機構が実施する認証評価について、理解を深めることを目的とし、評価システム改定の経緯をはじめ、認証評価の基本方針や評価基準、自己点検評価書等の作成及び評価のプロセスについてまとめた動画を作成して配信した。その後、短期大学からの依頼を受けてWeb会議システムを利用した個別相談会を実施した。

動画配信日 令和6年8月29日

個別相談会 開催日 令和6年9月10日

参加校数 短期大学2校

（3）ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価

令和7年度から適用されるファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価実施大綱及び評価基準の改定を踏まえて、規則の改正を行うとともに、「受審のてびき」等を作成した。

【令和6年度分野別認証評価】

① ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価に関する委員会等の開催

ア. ファッション・ビジネス系専門職大学院評価判定委員会（開催2回／委員7人）

【令和7年度分野別認証評価】

令和7年度ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価の申請は、令和6年7月に受理した。

認証評価 1研究科

【申請専門職大学院】

・認証評価 1研究科（私立）

文化ファッション大学院大学ファッションビジネス研究科

① 自己評価担当者説明会の開催

令和7年度の認証評価を申請した専門職大学院の自己評価担当者等の関係者を対象に、当機構が実施する認証評価について、理解を深めることを目的として、自己評価担当者説明会を開催した。

開催日 令和6年9月18日

会場 文化ファッション大学院大学

参加者 1研究科15人

2. 評価に関する調査・研究

(1) 評価基準等の調査研究

令和7年度認証評価の実施へ向けて各種受審のてびきを作成するとともに、ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価の令和7年度以降の評価システムの検討を行った。また、国外では、米国の高等教育質保証に関する調査研究を行った。

① 評価システムの改善

- ・大学機関別認証評価については、「令和7年度 大学機関別認証評価 受審のてびき」を作成した。
- ・短期大学機関別認証評価については、大学機関別認証評価の評価システムの改定内容を参考に、「令和7年度 短期大学機関別認証評価 受審のてびき」を作成した。
- ・ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価については、令和7年度以降の評価の実施に向けての諸規則の改定などを行うとともに「令和7年度 ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価 受審のてびき」を作成した。

② 国内外の評価団体及び大学に対する調査・研究

米国の高等教育質保証に関する調査研究として、Web会議システムを利用して関係機関へのインタビューを行った。

- ・ルミナ財団 (Lumina Foundation) 令和6年6月21日実施
- ・ハイヤーラーニングコミッション (Higher Learning Commission)
令和6年7月12日実施
- ・高等教育ア krediteーション機構 (Council for Higher Education Accreditation)
令和6年7月19日実施

③ 認証評価に関する調査研究報告書の刊行

令和4年度から令和5年度に行った調査研究の成果をまとめた「認証評価に関する調査研究」第12号を刊行し、創立20周年記念評価充実協議会で参加者に配付したほか、会員校、関係機関、評価員などに献本し、国立国会図書館に納本した。

(2) 国際関係

① 諸外国の質保証機関等との交流促進

海外の評価機関との協力体制を構築するため、令和6年度は協力協定を締結した機関と以下の交流活動を行った。

- ・台湾の評価機関である Higher Education Evaluation and Accreditation Council (HEEACT) が実施する高等教育における inclusion と equity に関する書面インタビューに対応した。

回答日 令和6年11月13日

② 国際会議への参加等による情報収集

諸外国の高等教育の質保証の最新動向を把握するために、高等教育の質保証や評価に関わる国際的な機関等に加盟するとともに、国際会議等へ適宜参加して、情報の収集に努め、当機構の今後の評価システム改善等の検討材料としている。令和6年度は、以下の活動を行った。

- ・2024 CHEA/CIQG Webinar - Micro credentials: Protecting Consumers Through Quality Assurance に Web 会議システムを利用して参加した。

開催日 令和6年4月17日

3. 当機構の運営機能の充実・強化

(1) 評議員会及び理事会

令和6年度の評議員会は6月に1回、理事会は6月に第1回理事会及び臨時理事会、12月に第2回理事会、翌年3月に第3回理事会の計4回、それぞれ Web 会議システムを利用して開催した。

評議員会	開催日
評議員会	令和6年6月19日

理事会	開催日
第1回 理事会	令和6年6月4日
臨時理事会	令和6年6月19日
第2回 理事会	令和6年12月18日
第3回 理事会	令和7年3月13日

(2) 監事監査

定款及び規則に基づき、事業報告、財務諸表等及び理事の職務執行状況等について、監事監査を実施した。令和6年5月23日に監査報告書を作成し、第1回理事会及び評議員会において監事が報告を行った。

(3) 会員制度

会員校への情報提供として、評価充実協議会の開催、メールマガジンの配信、機関誌の送付を行った。また、令和6年度に入会した2大学及び3短期大学に対して、個別に当機構の評価の特色等の説明を行った。

(4) 企画運営会議の開催

当機構の目的及び将来構想並びに当機構の評価システムの見直し改善及び今後の方向性等に関する具体的な事項について、Web 会議システムを利用して開催した。企画運営会議規程の改正のほか「我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～（答申）」（以下、知の総和答申）について、文部科学省から説明を受けるとともに意見交換を行った。

- ・企画運営会議（開催1回／委員9人）

(5) 創立20周年記念評価充実協議会の開催

認証評価機関として、現状、今後のあり方、更には将来の展望について、会員大学の理事長、学長、事務局長、評価担当者等の大学関係者、その他教育関係者、行政、一般社会人を対象に、教育の質の維持・向上に対する啓発を目的に20周年記念事業の一環として開催した。令和6年度は、会場集合とライブ配信の併用形式で行った。

- ・講演「高等教育政策の動向について」

講師 山田 研市 文部科学省高等教育局大学教育・入試課課長補佐

- ・パネルディスカッション「今後の認証評価のあり方等についてー第4期の認証評価システムを中心にー」

パネリスト 鳶田 敏行 大学改革支援・学位授与機構研究開発部教授
工藤 潤 大学基準協会常務理事・事務局長
志賀 啓一 大学・短期大学基準協会理事
近藤 倫明 大学教育質保証・評価センター代表理事
伊藤 敏弘 日本高等教育評価機構常務理事・事務局長
ファシリテーター 安井 利一 日本高等教育評価機構理事長

開催日	会 場	参加者
令和6年7月9日	(東京)アルカディア市ヶ谷	会場集合 約160人 ライブ配信視聴者数 約1,000人 (関係機関を含む。)

(6) 当機構の自己点検・評価及び外部評価

外部評価委員会から指摘された事項について、ハラスメントの防止に関する規程及びリスク管理規程の改正を行い、当機構の事業の性質に鑑み適用範囲を広げ、当機構の事業に関与する者を対象に加えるなど内容を見直した。

(7) 職員等の研修の充実

大学等の職員を当機構へ受入れる「研修員受入制度」について、令和6年度は研修員11人を受入れ、各大学の内部質保証機能の充実・強化、評価業務の円滑な遂行に資する人材の養成に努めた。

研修の実施については、経験者を含む研修員と職員との合同での職員等勉強会のほか、研修員による研修成果報告会を開催し、職員等の資質能力の向上に努めた。また、課長以下の職員による大学基準協会との合同研修会を企画し、開催した。

併せて、専門的知識の習得のため、評価に関連する勉強会、各種学会及び日本私立大学協会等の関係団体等が主催する研修会への参加や文部科学省各種審議会等の傍聴を行った。

(8) ガバナンス充実に向けた自主的な取組み

法令遵守の取組みとして、当機構における職員の区分を見直し、当該区分ごとの就業規則を整備した。外部評価委員会から指摘を受けたハラスメントの防止に関する規程及びリスク管理規程についても、適用範囲を拡大するなど対応した。育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に当たり、働き方改革への対応も視野に入れ当機構における「柔軟な働き方を実現するための措置」を決定した。

(9) 事務局体制の強化

当機構職員の資質・能力向上に資する人事評価制度については、令和5年度に検討した「日本高等教育評価機構の使命・理念・行動指針」を実施した。また、就業規則を整理し、令和7年度の人事評価制度の試行の準備を行った。

4. 広報及び啓発活動

(1) 広報委員会の開催

当機構の今後の広報活動の充実を図るため、広報に関わる基本方針や方向性などについて、Web会議システムを利用して開催し、知の総和答申及び外部評価結果報告書への対応等を審議した。

- ・ 広報委員会（開催1回／委員8人）

(2) 広報誌等の刊行

認証評価機関としての活動状況及び評価結果を公表するとともに、評価の意義、内容、手続き等について、大学関係者をはじめ一般社会に広く理解を得るため、次のとおり広報誌等を刊行し、会員校、関係大学、関係機関等へ送付するとともに、ホームページで公表した。

- ・ 20周年誌 令和6年6月 2, 300部
- ・ 機関誌 PeeR（ピア）第19号 令和6年7月 5, 500部
- ・ 日本語版パンフレット 令和6年7月 7, 000部

(3) 情報公開

① ホームページ等の公開

- ・評価結果、第4期評価システムの実施大綱及び評価基準及び令和7年度以降のファシション・ビジネス系専門職大学院新評価システムの公表、当機構の外部評価結果、20周年誌、各種マニュアル等を掲載

② ホームページのリニューアル

- ・日本語版（創立20周年記念特設サイトの公開を含む。） 令和6年4月
- ・英語版 令和6年6月

(4) その他の情報発信

委員会の開催状況や評価に関する事業の紹介など、メールマガジンで会員校及び評価員等へ積極的に発信した。

また、教育学術新聞（日本私立大学協会発行）へ「日本高等教育評価機構だより」を掲載した。

- ・メールマガジンの配信 毎月末1回 配信先 約2,000件
- ・教育学術新聞への掲載 令和6年4月～令和7年3月 5回掲載

5. 創立20周年記念事業の実施

令和6年11月25日に創立20周年を迎えることを機に、記念事業を実施した。

(1) 創立20周年記念評価充実協議会の開催（再掲）

開催に当たり記念品を作成し、会場参加者に配付

(2) 創立20周年記念表彰

創立20周年記念評価充実協議会の情報交換会において、当機構の発展に特に寄与した表彰対象者53人に対し、表彰状と記念品を授与

(3) 20周年誌の刊行（再掲）

創立20周年記念評価充実協議会等において会員校及び関係者へ配付

(4) ホームページのリニューアル（再掲）

【附属明細書】

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

以上